

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 1)

分野	1 子 ども	まちづくりの目標	子どもたちの 笑い声があふれるまち
		まちづくりの方向性	～ 健やかに育つ・育てる環境づくり ～

事業名	学 校 規 模 の 適 正 化 の 検 討 事 業	担当部・課	教育部 学校教育課
-----	---------------------------	-------	--------------

施策体系	施策の柱	(第2節) 未来を担う子どもを育むための学習環境の充実	
	施策名	1	個性を生かす学びや協同的な学びの充実

事業の概要	取組の背景	本市における児童生徒数の減少が見込まれていることや、学校施設の老朽化が進んでいることから、市内全ての児童生徒が等しく質の高い教育を受けられる環境の整備及び施設の安全性の確保が求められている。		
	趣旨・目的	令和7年3月に策定した「学校規模の適正化等に関する方針（案）」をもとに、市民の方々や関係機関の方々との意見交換を重ねながら、いただいたご意見と方針（案）の内容を踏まえて適正化を進めるための具体案の検討を行う。		
	実施概要	・各関係者と意見交換の実施 ・学校規模適正化具体案の検討	事業費	(千円) 368
	令和7年度の取組方針・目標値	意見交換会でのご意見を踏まえた具体案の作成を目標とする。		
これまでの取組状況		意見交換会を計37回開催し、延べ412名の方と意見交換を行った。同時にアンケート調査も行い、広くご意見を伺うことができた。 また、これらのご意見を反映した具体案について、教育委員会内での検討を進めたことで、令和8年度以降の庁内での検討に向けた足がかりを構築することができた。		
課 題		学校規模適正化を進める際には、各部局横断的な庁内検討も必要不可欠である。実施スケジュールや単年度の財政負担など、他事業との兼ね合いを考慮しながら、市としての持続可能な財政運営と事業推進を両立させることが重要な課題である。		
令和8年度以降の展開の方向性（改善方法）		令和8年度	教育委員会検討案の庁内協議 具体案についての意見交換会の実施	
		令和9年度	学校規模の適正化等に関する計画の策定	
関連する成果指標		—	SDG s	4.質の高い教育をみんなに
未来創生プロジェクト	2.よこぎ実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等		—
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		—		

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 2)

分野	2	福 社	まちづくりの目標	みんなが生き生きしているまち
			まちづくりの方向性	～ 健康で安心して暮らせる地域づくり ～

事業名	高齢者あんしん見守り支援事業	担当部・課	福祉子ども未来部 高齢福祉課
-----	----------------	-------	-------------------

施策体系	施策の柱	(第1節) みんなが生きがいを持ち安心して暮らせる支援体制の充実		
	施策名	1	高齢になってもいつまでもいきいきと暮らせる地域づくり	

事業の概要	取組の背景	一人暮らしの高齢者が増加傾向にある中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、見守り体制の充実が求められている		
	趣旨・目的	見守りにかかるICT機器の助成や直接訪問（市営住宅）、配食サービスの助成、災害時要支援者の避難支援等（見守り事業パッケージ）を進めるとともに、地域においては、町内会、民生委員児童委員、地域包括支援センターの総合相談、民間事業者との見守り協定、社会参画による孤立防止などと連携・支援することにより、多層的な見守り体制を構築する。		
	実施概要	①高齢者あんしん見守り支援事業・高齢者等見守り相談支援事業 ②配食サービス事業 ③避難行動要支援者の個別避難計画作成事業 他	事業費	(千円) 14,501
	令和7年度の取組方針・目標値	「見守り事業パッケージ」の周知・充実を図るとともに（目標値 見守り機器の新規申請27件、個別避難計画の策定50件）、地域における見守り体制の整備・支援（周知啓発等）に取組む		
	これまでの取組状況	高齢者あんしん見守り支援事業では、15件の見守りサービスの導入につなげた。個別避難計画は、避難優先度の高い方々について、意向確認を完了し、35名の個別避難計画を作成した。また、地域住民の見守り意識醸成のための「つながり・見守り・気づきのポイントガイドブック」作成、民間事業者ヒアリングによる連携強化等による地域の見守り体制を支援した。		
	課題	市の見守りにかかる各種事業（見守り支援パッケージ）については、引続き内容の充実や周知等により普及に取り組むとともに、地域の見守りの体制についても連携支援を図りながら、地域全体として見守り体制の整備を図っていく必要がある。		
	令和7年度以降の展開の方向性（改善方法）	高齢者あんしん見守り支援事業について熱中症対応機器の追加など内容の充実を図るとともに、「高齢者等見守り・相談支援事業」は対象を見直した「高齢者等見守り活動事業」として実施。また、個別避難計画は、優先度の高い方々で未回答の方への再確認を行い策定をさらに進める。また、包括支援センター等と連携しながら、日常的に行われる地域での見守りを支援し、全体として多層的な見守りを充実させていく		
	関連する成果指標		SDG s	
	未来創生プロジェクト		横連携・好循環が期待される施策等	
	関連する「塩竈らしい100の暮らし」			

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 3)

分野	4	産 業	まちづくりの目標	活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち
			まちづくりの方向性	～ 活力に満ちた産業づくり ～

事業名	門 前 町 活 性 化 事 業	担当部・課	産業建設部 商工観光課
-----	-----------------	-------	----------------

施策体系	施策の柱	(第2節) 商工業者の持続的な経営安定や事業承継・新規創業への支援の充実による地域活力の向上		
	施策名	3	個店の魅力がにつながる商店街づくり	

事業の概要	取組の背景	本市の顔である門前町地域は、鹽竈神社への観光客は多いものの観光動線が脆弱であり、郊外型大型店舗の進出に伴う商店の廃業や空き地の増加により商店街の連担性が失われている等、地域一体としての賑わいが不足している状況である。		
	趣旨・目的	門前町の再生に向けた検討組織である門前町再生検討部会の検討内容を基とし、門前町地域の関係者が主体となり、改めて地域関係者自らが門前町の現状を分析するとともに将来像を見出し、実現に向けた体制整備や計画化を行うもの。		
	実施概要	・門前町まち歩き勉強会・意見交換会 ・門前町エリア再整備に係る取組方針の策定 ・先進地視察（愛知県津島市） ・歩行者等交通量調査 ・国土交通省「官民連携基盤整備推進調査費補助金」の申請	事業費	(千円) 42
	令和7年度の取組方針・目標値	・門前町ミーティングや意見交換会の結果等を踏まえ、門前町エリアの再整備に向けた取組方針を年度内に策定する。 ・今後の事業化に向けた参考とするため、神社付近の市有地を活用し観光施設を整備した自治体の視察を行う。 ・門前町エリア再整備の事業化に必要な概略設計や関連調査を令和8年度に実施するため、国土交通省の補助金を申請し、財源確保を図る。		
これまでの取組状況		・門前町ミーティングの開催（令和4年度：3回、令和5年度2回、令和6年度：3回） ・道路活用実証実験「塩竈門前町カフェタイム」の実施（令和5年度：1回、令和6年度：1回） ・門前町意見交換会の開催（令和7年度：2回） ・「門前町エリア再整備に係る取組方針」の策定・公表（令和8年1月） ・先進地（愛知県津島市）視察の実施（令和8年2月） ・歩行者等交通量調査の実施（令和8年3月） ・国土交通省「官民連携基盤整備推進調査費補助金」の申請（令和8年6月交付決定済）等		
課題		鹽竈神社の来訪者が門前町エリアを回遊しないことで当該エリアの賑わいが失われていることから、観光客が集うための拠点整備を始めとした、回遊性向上や滞在時間延伸を目的とした門前町エリア全体の再整備が必要となっている。		
令和7年度以降の展開の方向性（改善方法）		【令和8年度】 ・国土交通省「官民連携基盤整備推進調査費補助金」を活用し、門前町エリアの再整備に係る基礎調査やPPP/PFI導入可能性検討を行った上で、基本構想および基本計画の策定を行う。 ・道路管理者である宮城県や他の関係機関と協議を行い、主要地方道塩釜吉岡線をほこみち指定する。 【令和9年度】 ・宮町駐車場への広域交流拠点整備および施設運営を行う事業者を公募し選定する。 ・ほこみち制度運用開始。 【令和10年度～】 ・整備事業実施。令和11年度 施設完成・運用開始予定。		
関連する成果指標		—	SDG s	—
未来創生プロジェクト		3.やりがい実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	中心市街地にぎわい創出事業
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		分野5	 初デートで本町を歩く暮らし 門前町の風情を感じる暮らし	

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 4)

分野	7	協働	まちづくりの目標	みんなが主役になれるまち
			まちづくりの方向性	～ さまざまな個性がつながり、役割を発揮できる環境づくり ～

事業名	塩竈市協働まちづくり提案事業	担当部・課	市民生活部 市民課
-----	----------------	-------	--------------

施策体系	施策の柱	(第1節) 塩竈の魅力向上に向けた市民活動への支援体制の充実		
	施策名	2	市民活動団体との協働・連携の推進	

事業の概要	取組の背景	市民の個性や得意分野を生かした活動がまちづくりの一助となることから、市と市民活動団体との協働・連携やパートナーシップの強化、まちづくり活動を行っている団体、これから行いたいと考えている市民を後押しする支援の充実が求められている。		
	趣旨・目的	町内会や市民活動団体等が連携・協働して事業を行うことで、市民力の向上を図り、自主的、主体的に取り組むまちづくり活動の促進と、市民が地域の担い手であるという意識の醸成を図ることを目的とする。		
	実施概要	町内会や市民活動団体等が協働して、まちづくりや地域課題の解決、コミュニティの強化などを行おうとする自主的・主体的な活動に対して3か年で助成金を交付するもの。 助成金の上限:1年目30万円、2年目20万円、3年目10万円	事業費	(千円) 1,748
	令和7年度の取組方針・目標値	令和7年度の新規応募テーマ「町内会元気回復」		
これまでの取組状況		令和7年度は新規団体3団体、継続団体(2年目)2団体を採択し助成金を交付することで、活動の支援を行った。 (参考) 令和元年から6年度までの新規団体 R1: 8団体、R3: 5団体、R4: 2団体、R5: 0団体、R6: 3団体(R2はコロナのため事業休止)		
課題		・助成金の交付終了後も団体が自立して活動を継続できる仕組み作りが必要 ・市民活動団体や町内会の声を聞きながら支援のあり方の検討を行う必要がある		
令和8年度以降の展開の方向性(改善方法)		・採択団体に対して定期的に事業の進捗状況の確認や相談を受け、事業が滞りなく進められるように支援する。 ・助成内容のあり方について検討を行う。		
関連する成果指標		市民活動団体登録数	SDGs	—
未来創生プロジェクト		4. にぎわい実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	—
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		—		